

第3回 胎内市総合計画策定に係る 市民ワークショップ

◇日時 平成28年4月13日(水) 19:00~21:00

◇場所 胎内市役所 501会議室

◇次第

時間	全体	グループ	内容
19:00~19:05 (約5分)	○		1. 開会 2. あいさつ
19:05~19:15 (約10分)	○		3. 資料の説明 ・本日の作業内容について
19:15~20:30 (約85分)		○	4. グループ別討議 ・前回の検討内容のふりかえり ・まちづくりの方向性および施策案について意見交換
20:30~20:50 (約20分)	○		5. 全体発表 ・グループ別討議の内容の発表
20:50~21:00 (約10分)	○		6. 閉会 ・次回の予定について ・ミニ・アンケートの記入

市長になった
つもりで

～本ワークショップの心得～

全員で

遠慮せずに積極的に発言を！
「つまらない意見かも」と考えずに話し合いの輪に参加しましょう！

楽しく

他の人の意見を否定しない！自分とは異なる視点や意見を尊重しましょう！

意見“交換”

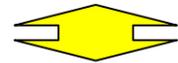
発言は手短かに！他の人が発言する時間を奪わないようにしましょう！

■本日の作業内容

第3回のワークショップのテーマは、「目標を実現する施策案の検討」です。

第2回・第3回

まちづくりの方向性の検討：「こんなまちにしたい」「こんなことがしたい」のイメージを出しあい、文章やキーワードでまとめる



相互に関連する内容なので、「こんなまちにしたい」「こんなことがしたい」を行き来しながら検討を進める

目標を実現する施策案の検討：「こんなことがしたい」という内容を具体化したプロジェクト（施策案）を検討する

具体的な作業内容 及び 最終的な成果のイメージは・・・

この頁の右側に掲載しているのは、他自治体で実施した市民ワークショップの成果の一例です。これを要約したのが↓、本ワークショップの成果の概要をご説明したのが↓です。

1. 対象地域の現状認識

- ① まちの外れにある地域
- ② 隠れた良いものがある/暮らしやすい地域
- ③ 近年大きく姿を変えつつある地域

2. まちづくりの方向性

- ・ ③の変化を捉えて、②を伸ばし、①のイメージを払拭することで「地域に人を集める」「まちを活性化する」ことを目指す

3. まちづくりの提案

- ① まちの中心をつくる
 - 既存の良い施設に人を集める（例えば・・・）
 - かつての中心的な施設を再活用する（例えば・・・）
 - 地域に人の集まるお見せをつくる（例えば・・・）
- ② 周辺的环境をより良いものにする
～以下略～

□胎内市には現在○○○といった【強み弱み】があります

□これからは、これを【活かして克服して】、○○○なまちづくりを目指していくことが重要です

□そのために、この10年間では特に○○○に取り組むことを提案します

今回は、次回第4回でのとりまとめに向けて、「我々はこんなことが言いたい」というものを出し切りましょう！体裁を整えたり足りない部分を補足したりという作業は次回実施します。※市の最上位計画という性格上、細かな提案の内容を全て「総合計画」に反映することはできませんが、施策の狙いや方向性が手厚く説明されていると取り上げやすくなります！

検討の進め方は・・・

第2回で検討した施策の意図や大事にしたいポイント（基本的な方向性）を意識しながら、提案の明確化や肉付けをしていきます。グループ毎に作業状況が異なるので、進行は各グループにお任せします（第2回WSまとめ資料の各グループの頁をご参照ください）。

1. Cグループの対象地域の現状認識

まちあるきやその後の話し合いの中で皆さんからいただいた意見を整理すると、Cグループの範囲（立花・文花・東墨田）は大きく以下のように捉えることができます。

① 墨田区の外れにある地域

- 墨田区の東端部に位置し、荒川（葛飾区との区界）、旧中川（江戸川区との区界）、北十間川（江東区との区界）に三方を囲まれています
- 盲腸線である東武亀戸線が地域内を走る唯一の鉄道です
- 買い物は区外の亀戸、平井に行く人が多くなっています
- 東墨田は墨田区で唯一工業地域の指定を受ける地域です

② 隠れた良いものがある/暮らしやすい地域

- 大小様々な公園や比較的幅の広い道路が存在する
- 団地が多く、その足下には、広場や集会所などの公共施設、時にはお店なども揃っています
- 東墨田ではスポーツ健康センターや東墨田公園などの大規模公共施設が整備されています

③ 近年大きく姿を変えつつある地域

- 大小の工場が多い地域ですが、なかには閉鎖するところも見られます
- 比較的大きな工場の跡地などでは大規模マンションへと土地利用が変化しています
- 工業地帯を流れる旧中川がきれいになり、水辺も散歩できるようになるなど、地域全体のイメージが変化しています

2. これまでの意見のまとめと・・・

○ 「①墨田区の外れにある」ため不便なところや寂しいところはあるものの、公園が多い、良い施設があるなど「②意外に良いところがある・暮らしやすい」という意見もありました。

○ また、そんな声を反映してか、近年では工場から住宅へと変わる敷地が増え、川がきれいになったなど「③大きく姿を変えつつある」ことも確認しました。

○ Cグループでは、そんな現状認識を踏まえて、これを期に「地域に人を集める」「まちを活性化する」ためのアイデアを検討してきました。

こんな整理になるでしょうか。3頁以降では、これまでにいただいたアイデアを課題毎、方向性毎に4つのテーマにまとめてみました。

現状認識	まちづくりの方向性
① まちの外れにある地域	活性化・地域に人を集める 「公共施設とPR」改め ① まちの中心をつくる
② 隠れた良いものがある/暮らしやすい地域	「公園と水辺」改め ② 周辺環境をより良いものにする
③ 近年大きく姿を変えつつある地域	「道路」改め ③ 交通利便性を高める 「マンション・住宅」改め ④ 新しい住宅をつくる

3. まちづくりの提案（案）

① まちの中心をつくる

＜現況の整理＞

- 買い物などは亀戸、平井（八広）など区外や周辺の地域に出て済ませることが多い
- いくつかの公共施設がまわって立地している（利用者が少ないところもある）
- 工場の跡地に様々な業種の会社が入ってきて、地域としてのまとまりが弱くなっている

具体的には…

＜まちづくりの方向性＞

① 既存の良い施設に人を集める

- ⇒ 健康ハウスなどの施設を落語等の発表の場として活用する
- ⇒ 東墨田公園や新平井橋公園などの大きな公園では地域のお祭りの舞台として多くの人に親しまれるようなものを目指す
- ⇒ その他大正民家などの良い施設を墨田区ならではのPR方法でPRする

② かつて地域の中心的な場所だった施設を再活用する

- ⇒ 地域内に特に多い旧文花小、旧西吾嬬小、旧木下川小、旧泉中などの廃校跡地の有効利用を考える
- ⇒ 閉鎖後そのままになっている廃工場の暫定的な利用方法を考える（見学会、ライトアップ、博物館などの施設に転用）

③ 地域に人の集まるお店をつくる

- ⇒ 東あずま駅前サンタウン立花のように、マンションの1階にスーパーを入れる
- ⇒ 工場の跡地にスーパーを誘致する（交通手段や宅配サービスの充実）

② 周辺環境をより良いものにする

＜現況の整理＞

- きれいになった旧中川沿いでは、堤防を作り替え、近くで水鳥を見ることができるような遊歩道が整備されたため、気軽に散歩を楽しむことができる
- 大小の公園や遊び場が多い（ただし、草花が少なく殺風景なところもある）
- 道路が細く、行き止まりになっている箇所が多い地域では災害時の避難などに課題を抱えている
- 立花・文花にはいくつかの商店街がある（ただし、閉まっているお店も見られる）

具体的には…

＜まちづくりの方向性＞

① きれいになった旧中川の水辺空間を使って地域の交流を促す

- ⇒ 季節の花を栽培して区内の他の川に負けないよう水辺を美しく演出する（グループ活動・住民の交流・花にちなんだお祭り）
- ⇒ 川沿いの遊歩道が途切れないように整備する
- ⇒ トイレやスロープより多くの方が楽しむために必要な施設を整備する

② 地域の公園をより親しみやすいものに変える

- ⇒ 殺風景な公園を平井橋公園のように草花や木を植えて親しみやすいものにする
- ⇒ 平常時には子供の遊び場として、災害時には、消火活動、避難活動などの拠点として活用できるような広場を整備する

③ まちに緑を増やす

- ⇒ 新たにできるパチンコ店のような大きな民間施設、地域の公共施設、比較的大きな道路などを中心にまちの緑を増やしていく
- ⇒ 例えば土壌汚染が見つかったり活用目的が立たない工場跡地などでピオトープなどの積極的な自然再生・環境回復に取り組む